

会 議 録

会 議 の 名 称	第1回 エコクリーンセンター長寿命化等検討委員会
開 催 日 時	平成30年4月26日(木) 13時00分～16時00分
開 催 場 所	エコクリーンセンター 2階研修室
協 議 事 項	(1)委員長の選出について (2)職務代理者の指名について (3)検討委員会設置の経緯及び目的の説明 (4)施設の概要等の説明 (5)ごみ処理施設の種類と動向の説明 (6)長寿命化の考え方の説明 (7)今後の審議事項及びスケジュールについて
出 席 委 員	山口大学大学院創成科学研究科教授 樋口 隆哉委員長 島根県立大学総合政策学部准教授 豊田 知世 島根職業能力開発短期大学校校長 紀 高志職務代理者 浜田市 市民生活部長 斗光 秀基 江津市 民生部門参事 村上 郁夫 浜田地区広域行政組合事務局長 宇津 光 計6名
事務局の出席者	浜田地区広域行政組合 副管理者 近重 哲夫(浜田市副市長) 総務課長 渡邊 哲也 総務課業務係長 佐々木 茂伸 総務課主任主事 柴田 浩司 株式会社日本環境工学設計事務所 技術部部长 瀧島 満
傍 聴 者	浜田市 市民生活部環境課施設管理係長 辰己 正義

発言者	内容
次第1 開会	
事務局	(事務局挨拶)
次第2 委嘱状の交付 (副管理者より各委員を代表して樋口委員へ委嘱状交付)	
次第3 あいさつ	
副管理者	<p>(副管理者より挨拶。以下、概要を示す)</p> <p>エコクリーンセンターは、平成18年末に稼働し、本年で12年目を迎えています。総工費約67億円、高温ガス化直接溶融方式、処理能力98t/日の施設です。</p> <p>施設運営は、本施設の設計・施工業者であるJFEエンジニアリング(株)と、かし担保期間を含み、包括的維持管理・運転管理の長期契約として、平成33年度まで締結しています。</p> <p>ごみ処理施設の一般的耐用年数は、建物は50年、設備は20年と言われ、特に設備については15年を過ぎると急激に劣化が進むと言われてます。従って、本施設も稼働後15年過ぎる34年度以降は当組合にとって、重要な課題です。JFEエンジニアリング(株)に34年度以降15年間の施設維持するための基幹改良・見積を提示してもらった結果、大変に高額な金額でした。この金額は当組合にとって現状、負担が大きすぎるものです。</p> <p>しかし、ごみ処理施設に支障を来すことは市民生活に影響を与えるため対処する必要があります。委員の皆様方には本検討委員会で長寿命化等を含めた最適な方法を審議して頂きたいお願い致します。</p>
次第4 自己紹介	
	(各委員自己紹介)
	(事務局自己紹介)
次第5 協議事項(1) 委員長の選出について	
委員	事務局に案がありましたら、お願いしたい。
	(委員、了承)
事務局	山口大学大学院教授の樋口隆哉様をお願いをしたい。
	(委員、了承)
	(樋口委員が委員長席に移動)
委員長	(挨拶)
次第6 協議事項(2) 職務代理者の指名について	
委員長	島根職業能力開発短期大学校校長の紀高志様をお願いをしたい。
	(委員、了承)
次第7 報告事項(1) 委員会設置の経緯及び目的の説明について(資料1)	
事務局	(資料1の説明)
委員	この見積はどのように確認したのですか。
事務局	見積はJFEエンジニアリングより、①通常メンテナンスの場合②大規模改修の場合③交付金を活用した基幹改良の場合の3項目について徴取した。新施設の建

	設については見積徴取はしていない。
委員長	この見積根拠はざっくりとした額で、今後、共通認識として、中身を理解する必要がある。
次第8 報告事項(2) 施設の概要及びごみ処理施設の種類の動向について(別冊)	
事務局	(施設の概要について説明)
委員	ごみ処理量実績値(t/時)にて、施設稼働停止が多いが算出方法は実稼働時間で行ったのか。
事務局	その通りである。
委員	稼働時間が短いのは能力的に余裕があるから少ないのか、設備の点検・補修等で停止したのか。
事務局	点検・補修等で施設稼働を停止した。
委員	実稼働が90%~95%に近いのか。
事務局	その通りである。
委員	平成30年度からごみの分別が変わったが灯油等の維持費はどうか。また、変わった内容はどうか。
事務局	4月から本格実施であるため、情報(データ)が少ない。この度、リサイクルできないプラスチック(プラマークのないもの)、よごれたプラスチックが可燃物となった。
委員長	ごみの搬入量が徐々に減ってきているが、1人当たりの搬入量が徐々に増加しているがなぜか。
事務局	人口については徐々に減少しているが、草刈り等の持込ごみが増えているためと思われる。
委員	分別変更は浜田市、江津市合同で行っているのか。
事務局	浜田市、江津市ともども、同時に合同で行っている。実施の前に試験で不燃物処理場から一次処理したものを持ちこんでいる。
事務局	(ごみ処理施設の種類の動向について説明)
次第9 報告事項(3) 施設長寿命化の考え方について(別冊・添付資料)	
事務局	(施設長寿命化の考え方について説明)
委員	現在、契約している「運転保守管理業務委託」期間はいつまでか。
事務局	平成21年度から平成33年度の13年間で平成34年3月31日までである。
委員	交付金を活用する場合スケジュールはどうか
事務局	次回、第2回検討委員会にスケジュール(案)を提示し、審議をお願いする。 平成31年度に地域計画、32年度に長寿命化計画の策定、33、34年度の2年間で実施設計及び契約支援となる。また、ごみ処理を外部委託しないで改良工事を行う予定としているので平成35年度から38年度の4か年の工事期間が必要と考えている。
委員	ストックマネジメントの考え方は施設長寿命化の3案のどれに当たるのか。
事務局	ストックマネジメントは社会資本のストック(廃棄物処理施設)において、性能水準を保ちつつ長寿命化を図り、ライフサイクルコスト(以下、「LCC」)を低

	減するための技術体系及び管理手法の総称である。
委員	廃棄物処理施設の場合、前述の3案のどれが多いのか。
事務局	次回の検討委員会において、LCCを提示しますので審議をお願いします。
委員	交付金対象とする手法は。
事務局	基幹改良工事にてCO2を所定の率削減を行う必要がある。通常は電力、燃料等の削減にて実施する。
委員	JFEエンジニアリング(株)の見積が高額と言われるが、その検証はどうするのか。
事務局	過去の基幹改良工事・実績発注金額と比べ高い。実際の工事が4,5年先であることから、金額が出し難いことも考えられる。再度、JFEエンジニアリング(株)に確認する。
委員	本施設と同時期に稼働した同方式(ガス化溶融方式)の調査も行う必要があるのでは。
事務局	組合にて調査する。
次第10 今後の検討委員会の審議事項及びスケジュールについて	
事務局	次回第2回検討委員会は7月6日が有力だが、各委員方の日程を確認の上、後日、報告する。また、次回はLCCを作成するとともに、事業のスケジュール(案)を提示しますので審議をお願いします。
	(委員、了承)